

平成 28 年度 1 学期始業式あいさつ

平成 28 年 4 月 8 日

皆さん、おはようございます。

私は、この 4 月に新しく長尾高校の校長として着任しました寶田です。

4 月 1 日に着任してから、生徒の皆さんに会えるのを楽しみにしていました。今こうして、皆さんにお会いすることができて嬉しい気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願ひします。

さて、2・3 年生の皆さん、新たな気持ちで新学期を迎えてくれたことと思います。その新学期に当たり、私からメッセージを伝えたいと思います。伝えたいことはたくさんあるのですが、今回は一つに絞ってお話しします。

それは、『友愛』を大切にできる人になって欲しい」ということです。

「友愛」という言葉を、身近なところで見たり聞いたりしたことはありませんか。

この言葉は、長尾高校の大切なキーワードの一つなのです。

「友愛」という言葉は、本校の教育目標の中にも示されています。

皆さん、本校の教育目標を知っていますか？

本校は「徳性・知能・体力ともにすぐれ、誠実、明朗で友愛と気力に満ちた人物の育成に努めること」を教育目標としています。

では、「友愛」とは何でしょうか？

恐らく皆さんは「友情や愛情」「友を大切にできること」「愛情を持って接すること」といったことを思い描いたのではないのでしょうか。私もその通りだと思います。

今日は、皆さんにより深く考えて欲しいと思ったので、「友愛」のそれぞれ一字ずつ「友」と「愛」について、これらの漢字に込められた想いを探るため、古代の人はどうに捉えていたのか、漢字の起源や成り立ちを解説した書物を調べてみました。

その書物によると、「友」という漢字は、古代文字では、二つの手を並べた形を表しているようで、「手に手を添えて助ける」という意味があるそうです。

さしずめ、重い荷物を持っている人のことを思って手をさしのべて助けるようなイメージでしょうか。

同様に「愛」という漢字は、人が後ろを振り返る心情を表すそうです。人が振り返っている様子に真心が付け加えられたものだと言われています。

さしずめ、人が「大丈夫かな」と思ってふり返っている様子、その真心を捉えたのでしょうか。

これらのことを総合して考えますと、「友」と「愛」という漢字には、それぞれ「相手のことを思って助ける、協力する」「人のことを思いやる」という意味が込められているように思います。

ですから、「友愛」を大切にするためには、「相手の立場に立って考えられる」「相手を思いやれる」ことが必要不可欠だと私は考えます。

皆さん、これまでの自分をふり返って考えてみてください。

自分が発した言葉で人を傷つけていないだろうか？もし、自分が同じことを言われたりされたりしたらどう思うのか、自分に置き換えて考えてみてください。

自分が急いでいるからといって、自転車を猛スピードで走らせる。そこを通りがかった、例えばお年寄りや幼い子どもはどんなに恐怖を感じるのだろうか。自分がそんなめにあったら、或いは自分の大切なおじいさんやおばあさん、もし、自分の子どもであったら…。

自分に置き換え、友や人の立場にたって考えてください。言い換えると、自分がされて嫌なことは人にしないと思えるようになってください。

相手のことを思いやれるということを、これからも大切にしてください。

そのように思える気持ちがあれば、友愛を大切にするために、これから自分はどうあるべきか、日々の生活の中で何をどうすべきか。

相手を傷つけたり、嫌な思いをさせたりしないようにするためにはどうすればいいのか。

皆さんなら、きっと分かってくれると私は信じています。

最後に、2年生は2年後の、3年生は1年後の進路に向けて、夢の実現に向けて、具体的な目標を立て、計画的に着実に、最後まで諦めずに挑戦し続けてください。

そして、「友愛」を大切にしながら、互いに高め合い、心温まる思い出をたくさん作ってください。

皆さんの益々の成長を心から願って、始業式のあいさつとします。